

『建設物価 建築費指数[®]』 2026年2月分の指数データを公表

一般財団法人建設物価調査会（本部：東京都中央区、理事長：白土昌則）では、同会ホームページにて毎月公表している『建設物価 建築費指数』について、2026年2月分の指数データを2026年3月10日13:00より公表いたします。

建築費指数は、建物を建築する際の工事価格の変動を明らかにすることを目的に作成されており、物価としての建築費の時点間や地域間での比較や、建築費の動向に関する時系列的な観察が可能です。

■2026年2月分の指数動向（工事原価指数 東京）■

▶集合住宅(RC造)の指数は、143.2(暫定値)と前月比で0.1%増、前年同月比5.9%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与：電線・ケーブル(材工)[+0.13]、型枠(材工)[+0.01]、上記以外の建築細目[+0.00]などの5細目
(対純工事費指数) マイナス寄与：なし

▶事務所(S造)の指数は、140.9(暫定値)と前月比で0.3%増、前年同月比3.6%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与：電線・ケーブル(材工)[+0.17]、鋼材(材)[+0.09]、上記以外の建築細目[+0.00]などの5細目
(対純工事費指数) マイナス寄与：なし

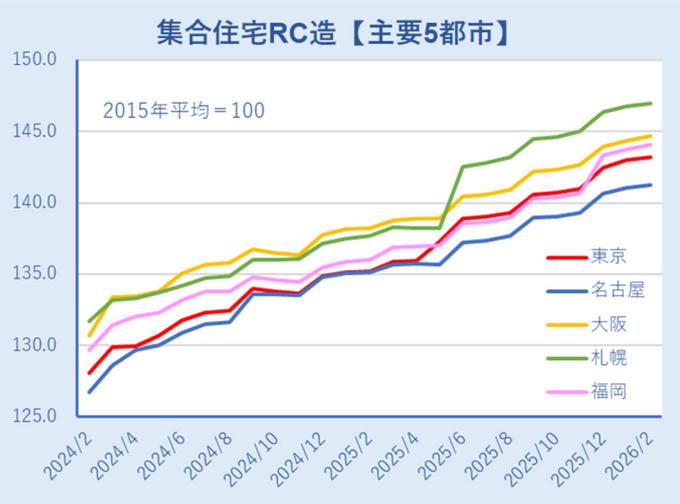
▶工場(S造)の指数は、139.5(暫定値)と前月比で0.3%増、前年同月比3.7%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与：電線・ケーブル(材工)[+0.25]、鋼材(材)[+0.11]、型枠(材工)[+0.00]などの5細目
(対純工事費指数) マイナス寄与：なし

▶住宅(W造)の指数は、149.2(暫定値)と前月比で0.1%増、前年同月比6.2%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与：電線・ケーブル(材工)[+0.05]、木工(材工)[+0.01]、上記以外の建築細目[+0.00]などの4細目
(対純工事費指数) マイナス寄与：なし

■工事原価指数グラフ■



■工事原価指数値■

集合住宅 RC造【主要5都市】		※2015年 = 100				
年月	東京	名古屋	大阪	札幌	福岡	
2025年2月	135.2	135.1	138.2	137.7	136.0	
3月	135.9	135.6	138.8	138.3	136.9	
4月	136.0	135.7	138.9	138.2	137.0	
5月	137.3	135.7	138.9	138.2	137.0	
6月	138.9	137.2	140.4	142.5	138.5	
7月	139.0	137.4	140.6	142.8	138.6	
8月	139.3	137.7	140.9	143.2	139.0	
9月	140.6	138.9	142.2	144.5	140.3	
10月	140.7	139.0	142.3	144.6	140.4	
11月	141.0	139.3	142.6	145.0	140.7	
12月	142.5	140.7	143.9	146.4	143.3	
2026年1月	P 143.0	P 141.1	P 144.4	P 146.8	P 143.7	
2月	P 143.2	P 141.3	P 144.6	P 147.0	P 144.1	

■主な指数動向寄与細目（東京）■

詳細な市況は <https://www.kensetu-bukka.or.jp/> をご覧ください。

プラス寄与

銅価格の世界的な上昇傾向が継続したことに伴う電線・ケーブルの価格上昇、需要低迷による生産効率の悪化で製造コストが増加したこと起因する鋼材の価格上昇など、複数の要因が指数動向のプラスに寄与した。

マイナス寄与

なし



【お問合せ先】 ※「建設物価 建築費指数」は建設物価調査会の登録商標です。転載・二次利用には出典を明示してください。

一般財団法人建設物価調査会 総合研究所 経済研究課 Tel : 03-3663-7235

東京都中央区日本橋大伝馬町11番8号 フジスタービル日本橋 E-mail : econ@kensetu-bukka.or.jp

詳細な指数はコチラ → https://www.kensetu-bukka.or.jp/business/so-ken/shisu/shisu_kentiku/